

# 第2回まちづくり推進町民会議を開催

## まちづくりに意見要望

平成30年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が10月19日(金曜)10:30から美深町役場大会議室において開催され、委員16名と町理事者、各課長等あわせて31名が出席しました。

会議では、1つ目に第5次美深町総合計画の平成29年度における事業の実績説明、2つ目は8月に行政評価町民委員会で議論された行政評価の結果説明、3つ目に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果の説明を行い、それらの報告事項の後にまちづくりに関する意見交換を行いました。

会議の内容

- (1) 山崎議長あいさつ
- (2) 山口町長あいさつ
- (3) 第5次美深町総合計画(平成29年度事業実績)について -①
- (4) 平成30年度(平成29年度事業)行政評価結果について -②
- (5) まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について -③
- (6) まちづくりの推進についての懇談 -④



### ①第5次美深町総合計画(平成29年度事業実績)について

第5次総合計画に基づく、平成29年度総合計画の実績額として32億5,097万円の執行額の状況(計画に対する執行率102%)や、町の資金借入である地方債についての説明が行われました。

平成29年度は191の事務事業が実施され、住民生活、農林業、商工業、観光、学校・社会教育、保健・老人福祉などの主要事業の事業費、過疎債の充当状況を計画・実績と対比し、総合計画に基づく実績説明を行いました。

### ②平成30年度(平成29年度事業)行政評価結果について

平成29年度の評価実績としては、1次評価191事業、2次評価102事業、3次評価(行政評価町民委員会)31事業の評価が行われました。

評価の結果としましては、A評価23施策(74%)B評価8施策(26%)C及びD評価は0評価となりました。

各個別事業については、継続課題もあり、来年度以降の対応方法の考え方について説明を行いました。

### ③まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について

平成27年度に策定された「美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要説明を行った後、本年8月に実施された「まち・ひと・しごと創生総合戦略評価報告書」に基づき、基本目標毎に設定された数値目標、KPIの評価結果について報告が行われました。

評価の結果としましては、A評価8事業、B評価30事業、C評価1事業となり、総合戦略達成に向けて出された各部会報告も併せて説明を行いました。

### ④まちづくりの推進についての懇談

- 教科書のコンパクト化について
- 美深町の子育て支援について
- 今後の植樹の在り方について
- 仁宇布地区の振興について
- 9月の大規模停電について
- 河川の維持管理について

※懇談内容の詳細は、次項に記載

## ⑤まちづくりの推進についての懇談

### ●教科書のコンパクト化について

委員～

教科科目が増え、教科書が重たくなりカバン・ランドセルが大きくなっている。

教科書のコンパクト化を図れないものか？

教育長～

教科書のコンパクト化は全国的な問題として認識。

授業日数の増加、教科書ページ数の増加は、文部科学省主導で改善を進めなければならない問題。現場の対応としては、宿題のない科目の教科書を学校に置いて帰る工夫など。

教科書は国が定めているものであり、状況を見守っていきたい。

### ●美深町の子育て支援について

委員～

美深町の子育て支援は、保健師さんの教室も行われているが、例えば妊婦さんを対象とした骨盤体操など、プロの方を呼んでの専門的な乳幼児教室、妊娠～出産～産後までお母さんも赤ちゃんもサポートできる体制を作れないか？

保健福祉課長～

子育て支援は重要と考えており、妊娠・出産・育児における各種母子保健事業に取り組んでいるが、今後も他市町村の先進事例なども参考としていきたい。

### ●今後の植樹の在り方について

委員～

開拓120年記念植樹祭が仁宇布地区で開催された。

今後、植樹を行うときは針葉樹ばかりではなく広葉樹を植えて欲しい。

紅葉の時期には見た目も綺麗である。

建設水道課長～

広葉樹の必要性は認識を持っている。

年2回の下刈りを行いながら、造林事業を進めているが、造林事業の補助事業対象となるためには一定程度の面積確保や、小班毎に樹種が変わってしまうと補助を受けられないことがあるため植樹祭には適さない。広葉樹は成長が遅いという造林保育の管理上の問題も理解願いたい。

### ●仁宇布地区の振興について

委員～

仁宇布地区はトロツク、山村留学、松山湿原観光と町の活性化になっている部分も多いと思う。

来年度以降は、仁宇布小中学校校舎建て替えの課題もあり、仁宇布地域振の興に対する御理解を願いたい。

美深町長～

仁宇布地区の振興策は、行政サイドだけではなく、町民皆様の御理解が必要。

< 次項あり >



## ⑤まちづくりの推進についての懇談

### <出席委員からの主な質疑・意見>

#### ●9月の大規模停電について

委員～

9月の大規模停電、情報端末機が使えない状況で消防署の広報車が回った。発電機不足もあり各公共施設の整備も必要。携帯電話の充電スペース、ガソリン、灯油はスムーズに販売されていた。

社協のサービスとしては、配食サービス、入浴サービスを停止した。このような停電が冬に起きた場合も大変心配である。

総務課長～

3:08分の地震発生後、3:25分に停電。消防・病院は自家発電で電源を確保できた。

早朝ということもあり、消防放送で午前7時に周知し、その後、広報車で回ったが、最近の住宅は機密性も良く、防音効果も高いため、家の中まで放送が聞こえなかったり、断水の誤報が流れてしまった。

これらの正確な情報伝達のためにも、自主防災組織(情報班)のシステム再構築の必要性を感じた。冬場の発電機不足も想定し、国の補助制度に応募をしながら整備を進めて行きたい。

#### ●河川の維持管理について

委員～

12線川に流木が溜まり、川幅が狭くなっており河川管理の要望はどうすれば良いか。

建設水道課長～

吉野地区については、12線川とオキキン川があるが、道費河川については、今年12月から12線川上流部と美深パンケ川で立木処理の河川維持工事を行う予定。町で管理する普通河川も建設水道課に連絡を頂ければ、現地を見て順次対応をしていく。

